

第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」の進捗状況（令和2年度実績）

1 数値目標及び施策のKPI等の進捗状況

(1) 趣旨

第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」では、4つの《基本目標》ごとに、実現すべき成果に係る「数値目標」を設定するとともに、施策ごとには客観的な効果検証が可能な「KPI（重要業績評価指標）」を設定し、それぞれ5年間で達成すべき目標値を設定している。目標値は年度ごとに年次目標を設定し、それらの達成状況の検証及び評価を通して、計画の進捗管理を実施している。

このような評価的視点に立った進捗管理により、各分野における施策の整合性の確保や効率性の向上につなげる。

《基本目標》

基本目標① 多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる

基本目標② 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

基本目標③ 魅力的なしごとで挑戦できるまちをつくる

基本目標④ 誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる

(2) 数値目標、KPI（重要業績評価指標）の令和2年度実績（年次目標ベース）

基本目標	種別	指標数	達成状況（上段：指標数、下段：分布割合）					備考
			100%以上	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	
①	数値目標	1	1	0	0	0	0	80%以上 1
			100%	0%	0%	0%	0%	100%
	KPI	5	2	1	0	0	2	80%以上 3
			40%	20%	0%	0%	40%	60%
②	数値目標	3	1	2	0	0	0	80%以上 3
			33%	67%	0%	0%	0%	100%
	KPI	17	10	6	0	1	0	80%以上 16
			59%	35%	0%	6%	0%	94%
③	数値目標	2	1	0	0	0	1	80%以上 1
			50%	0%	0%	0%	50%	50%
	KPI	12	4	2	1	0	5	80%以上 7
			33%	17%	8%	0%	42%	58%
④	数値目標	3	1	1	0	0	1	80%以上 2
			33%	33%	0%	0%	33%	67%
	KPI	14	2	0	1	1	10	80%以上 3
			14%	0%	7%	7%	71%	21%
合計	数値目標	9	4	3	0	0	2	80%以上 7
			44%	33%	0%	0%	22%	78%
	KPI	48	18	9	2	2	17	80%以上 30
			38%	19%	4%	4%	35%	60%

※数値目標・KPIの数は施策ごとにカウントしているため、違う施策で同じ数値目標・KPIの場合には重複。

※達成状況（計）は小数点以下を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%ではない。

※未集計指標3件を除き算出。

(3) 総評

- 令和2年度は、「基本目標①多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる」、「基本目標②安心して子どもを産み育てられるまちをつくる」については、概ね数値目標の年次目標を達成した。
一方、「基本目標③魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる」、「基本目標④誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる」のうち、観光や人の交流に関わる数値目標2指標については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績値が年次目標を大きく下回り、達成状況は70%未満となった。
- 緊急事態宣言や外出自粛、休業要請による人流の抑制や経済活動の停滞など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きい1年ではあったものの、全国的にオンラインやAIなどデジタル技術の活用が進み、テレワークやオンライン会議など、「新たな生活様式」に対応した時間や空間に捉われないライフスタイルや働き方の選択肢が広がるとともに、より創造的な活動に注力できる環境づくりが進んだ年でもあった。
- 本市においても、「新しい生活様式」への対応に取り組む事業者への支援やキャッシュレス還元事業などコロナ禍を乗り切る経済対策や、ICT教育環境の整備に取り組むとともに、高岡万葉まつりや高岡クラフト市場街といったイベントをオンラインで開催するなど、感染防止対策に努めながら事業等を展開した。
- このように、各種支援の実施やオンラインへの対応等により、一定程度は、取組みを進めることができたと考えている。今後は、今回のコロナ禍で加速したデジタルトランスフォーメーションなどの社会情勢の変化にも的確に対応し、経済回復と感染防止のバランスを勘案しながら、ポストコロナ時代に向けたまちづくりを推進していく必要がある。

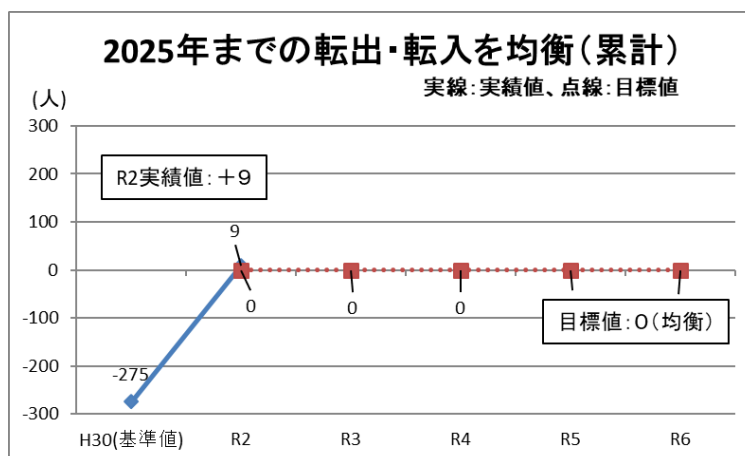
(4) 基本目標別の状況

基本目標① 多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる

<数値目標>

- ・「転出・転入の均衡」について、令和2年度は、転入者数が4,441人、転出者数が4,432人で、9人の転入超過となり、目標を達成した。

項目	基準値	年次目標	実績値	達成率
	H30	R2		
2025年までの転出・転入を均衡	▲275人/年 (H26～30年度の 累計▲103人/年)	0人/年	9人/年	108.7%



<主な KPI の動向>

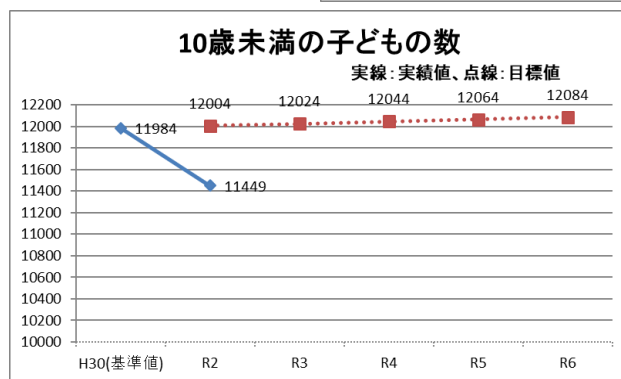
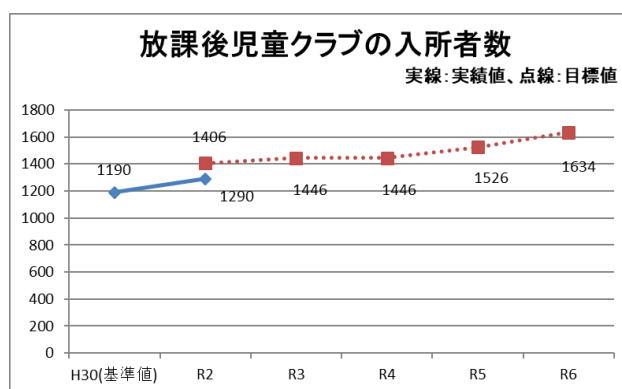
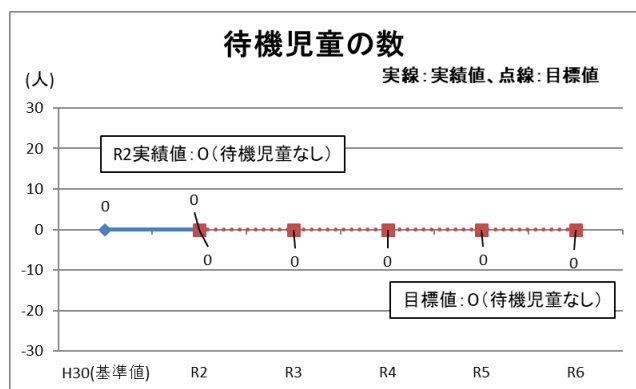
- ・(No6) 空き家相談件数は、対面の空き家相談会を一部中止したことから、年次目標の61件に至らず39件の実績となった(達成率63.9%)。代替手法として動画セミナーのオンライン配信による情報発信に取り組んだ。
- ・(No9) まちなか区域における居住支援に伴う居住人口は、事業申請件数は前年度と変わらなかったものの、単身世帯の申請が増加したことで年次目標を下回り、年次目標60人に対し、39人の実績となった(達成率65%)。しかし、高岡駅前東地区整備推進事業により令和2年9月に分譲マンションが竣工したため、今後の居住人口増加が期待される。

基本目標② 安心して子どもを生き育てられるまちをつくる

<数値目標>

- ・「待機児童の数」は0人を達成した。
- ・「放課後児童クラブの入所者数」は1,290人で、年次目標1,406人を116人下回った（達成率91.7%）
- ・「10歳未満の子どもの数」は、11,449人であり、年次目標12,004人を555人下回った（達成率95.4%）

項目	基準値	年次目標	実績値	達成率
	H30	R2		
待機児童の数	0人	0人	0人	100.0%
放課後児童クラブの入所者数	1,190人	1,406人	1,290人	91.7%
10歳未満の子どもの数 (2025年までに2020年+100人)	11,984人	12,004人	11,449人	95.4%



<主な KPI の動向>

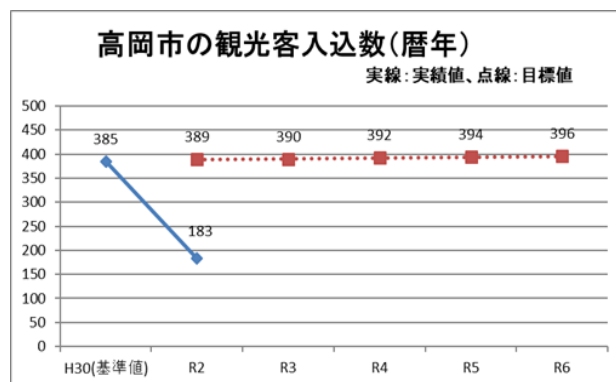
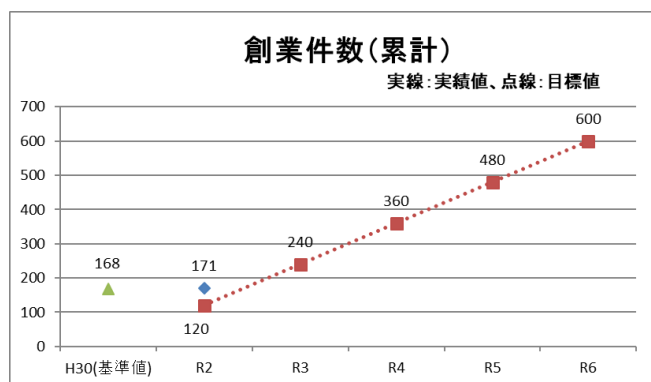
- ・個別の事業所への働きかけを強化した結果、(No13) ワーク・ライフ・バランス推進事業所の新規認定数は、年次目標6件を上回る13件の実績となった。
- ・乳幼児健康診査の際のアンケートによる (No15) 積極的に育児をしている父親の割合は、年次目標66%を上回る68%の実績となった。
- ・(No25、No26) ICTを活用した授業の実施率は、小学校、中学校それぞれ45%、40%を目標としていたが、それぞれ実績96%、91.7%と、年次目標を大幅に上回った。新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、国のGIGAスクール構想が加速するなか、本市においても一人一台学習専用端末の配備や高速容量の校内通信ネットワークの整備、遠隔会議システムの導入など、ICTの教育環境の整備を進めた。

基本目標③ 魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる

<数値目標>

- ・「創業件数」は171件で、年次目標120件を上回り、142.5%の達成率となった。
- ・「高岡市の観光客入込数（暦年）」は、年次目標389万人を大きく下回り、183万人となった（達成率47%）

項目	基準値 H30	年次目標	実績値	達成率
		R2		
創業件数（累計）	168件	120件	171件	142.5%
高岡市の観光客入込数（暦年）	385万人/年	389万人/年	183万人/年	47.0%



<主な KPI の動向>

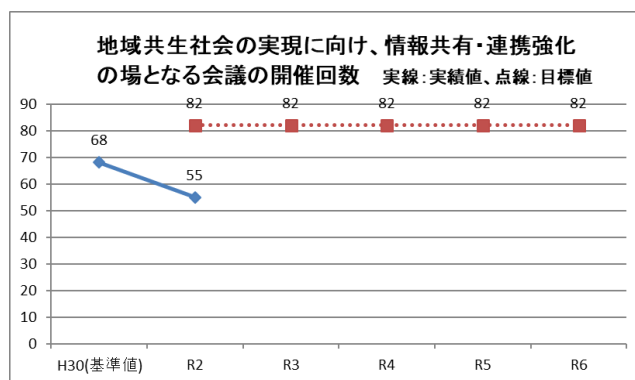
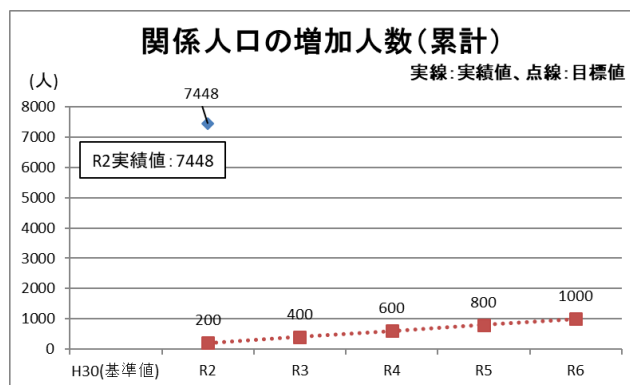
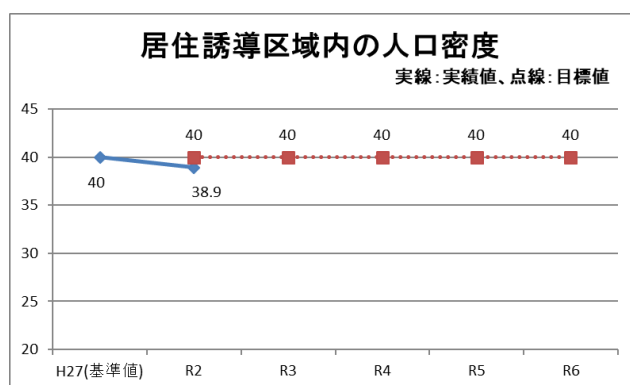
- ・(No33)海外バイヤー招聘事業は、コロナ禍の影響により例年とは異なるオンラインでの商談会となったが、ジェトロ富山と連携し、市内事業者への積極的な周知や通訳等のマッチングに係る支援を行った。その結果、成約件数は、年次目標の7件を超える10件の実績となった。
- ・(No37) 立地助成制度の採択事業者数は、市内外の企業への誘致活動や産業団地の分譲推進、支援施策等の提案を積極的に展開した結果、年次目標10件を上回る11件の実績となった。
- ・(No42)外国人宿泊者数は新型コロナウイルス感染症に伴う入国規制などにより、年次目標11,880人に対し、実績2,414人と、大幅に下回った（達成率約20.3%）
高岡市の観光客入込数の減少率は、富山市、金沢市とほぼ同等であり、コロナ後においては、他地域に遅れることなくコロナ前の水準まで戻すことができるよう、国の方針、県のイベント開催判断フローに基づき、個々の開催の可否を検討し、対応していく。厳しい状況でも、アフターコロナを見据え、高岡万葉まつりや高岡クラフト市場街といったイベントをオンラインで開催する意欲的な動きも見られた。
- ・(No39)中心商店街・観光地周辺における新規開業店舗数は、年次目標の10件を上回る17件の実績となった。

基本目標④ 誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる

<数値目標>

- ・「居住誘導区域内の人口密度」の実績は 38.9 人/ha で、年次目標の 40 人/ha を下回った（達成率 97.1%）
- ・「関係人口の増加人数（累計）」は 7,448 人であり、年次目標を大幅に上回った。
- ・「地域共生社会の実現に向け、情報共有・連携強化の場となる会議の開催回数」は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催を自粛したことから、55 回と年次目標を下回った（67.1%）

項目	基準値 H30	年次目標	実績値	達成率
		R2		
居住誘導区域内の人口密度	40 人/ha (H27)	40 人/ha	38.9 人/ha	97.1%
公共交通人口カバー率	77.2%	81.8%	-	-
関係人口の増加人数（累計）	-	200 人	7,448 人	3724.0%
地域共生社会の実現に向け、情報共有・連携強化の場となる会議の開催回数	68 回	82 回	55 回	67.1%



<主な KPI の動向>

- ・(No49) 空き家相談件数は、年次目標 61 件に対し、実績 39 件と、下回った（達成率 64%）
- ・(No51、52) 1 日当たり歩行者通行量は、年次目標 14,789 人に対し、実績 10,149 人と、下回った（達成率 68.6%）
- ・(No59) 公民館利用者数は、年次目標 55 万人に対し、実績約 27 万人と、下回った（達成率 48.7%）
- ・(No63) 学校開放における利用者数は、年次目標約 32.6 万人に対し、実績約 20.8 万人と、下回った（達成率 63.9%）

2 令和2年度地方創生関係交付金事業の実績について

総合戦略「みらい・たかおか」の推進のために、平成28年度以降、国の地方創生関係交付金を活用している。令和2年度の地方創生関連交付金事業実績は次のとおり。

(1) 地方創生関係交付金の概要について

- ア 地方創生推進交付金（平成28年度～継続中、50%が国から交付される）
地方版総合戦略に位置付けられた先駆性のある取組みの円滑な実施に対し、国が支援。
- イ 地方創生拠点整備交付金（平成28年度～継続中、50%が国から交付される）
地方版総合戦略に位置付けられた先駆性のある取組みのハード整備に対し、国が支援。

(2) 地方創生推進交付金（全7事業（広域連携4事業、市単独3事業））

ア 【広域連携事業】「大人の社会塾」を中心とした人材育成による地域活性化事業【拡大・深化版】

計画期間	平成28～令和2年度
目指す将来像	地域に山積する諸課題を解決するための人材を育成し、官民連携、政策間連携、地域間連携を図りながら、地域のけん引役を担う人材の養成を目指す。
概要	<p>全国の市町村が連携し、講師陣を相互に派遣することで、人材育成と地方への人の流れやしごとの創出を図る「熱中小学校」を開設・運営するもの。（広域代表：山形県高島町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は全国12市町村が連携。 ・本市では、高岡熱中寺子屋事業において「観光開発」をテーマとした人材育成に取り組んだ。下半期からは、リモート参加や興味のある授業のみの受講も可能として参加しやすい環境整備を図り、受講者数の確保に努めた。
交付対象事業費（国費）	5,000千円（2,500千円）
本事業における重要業績評価指標（KPI）	<p>連携先全体の交流人口（増加分）</p> <p>【目標値】 R2： 2,500人 R1：2,300人 H30：2,200人</p> <p>【結果値】 R2：▲12,526人 R1：1,814人 H30：11,001人</p>
	<p>熱中小学校プロジェクトに係るIoT活用による地域特産品等の売上高（増加分）</p> <p>【目標値】 R2：65,000千円 R1：5,000千円 H30：11,000千円</p> <p>【結果値】 R2：3,638千円 R1：2,441千円 H30：2,609千円</p>
	<p>※広域代表=高島町にて取りまとめ</p> <p>農畜産物を研究、新作物から6次化、地場産業を活かした特産品開発「熱中ブランド」（増加分）</p> <p>【目標値】 R2：3件 R1：2件 H30：2件</p> <p>【結果値】 R2：1件 R1：2件 H30：1件</p>
交付金事業の効果	「連携先全体の交流人口」は、H30に目標到達。R2は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開校を一部中止したことから大きく減少したが、本事業をきっかけとして新たな出会いが創出された。全国各地の姉妹校と連携した授業を展開するなど相互に高め合う関係を築くことができ、地方創生に効果があったと考えられる。

イ 【広域連携事業】「海のあるスイス」をめざす ALL 富山観光プロジェクト～マーケティングとブランディングによる選ばれ続ける観光地づくり～

計画期間	平成28～令和2年度
目指す将来像	富山の上質なライフスタイルに共感してもらえるターゲット層へアプローチを行い、リピーターや定住をも視野に入れたブランド価値を確立する。
概要	<p>(公社) とやま観光推進機構を中心に、観光資源の高付加価値化を進め、さらなる観光資源の発掘・ブラッシュアップと戦略的な情報発信を行うことで、「海のあるスイス」という観光ブランドの醸成を図るもの。(広域代表：富山県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市を含む県内市町村から(公社) とやま観光推進機構へ負担金を支出し、県内資源(富山湾、サイクリングルート、食、美術館・博物館等文化施設など)を活かした旅行商品造成・広報・誘客・もてなし体制の充実などに取り組んだ。
交付対象事業費(国費)	8,287千円(4,143千円)
本事業における重要業績評価指標(KPI)	<p>観光消費額(増加分)</p> <p>【目標値】R2: 43千円 R1: 108千円 H30: 108千円</p> <p>【結果値】R2: ▲503千円 R1: ▲11千円 H30: ▲67千円</p>
	<p>アンテナショップへの来館者数(増加分)</p> <p>【目標値】R2: 50,000人 R1: 100,000人 H30: 100,000人</p> <p>【結果値】R2: ▲768,278人 R1: ▲18,000人 H30: ▲7,000人</p>
	<p>県立美術館の年間来館者数(増加分)</p> <p>【目標値】R2: 20,000人 R1: 30,000人 H30: 70,000人</p> <p>【結果値】R2: ▲518,278人 R1: ▲254,033人 H30: ▲381,187人</p>
	<p>※広域代表=富山県にて取りまとめ</p> <p>延べ宿泊者数(増加分)</p> <p>【目標値】R2: 347,000人 R1: 347,000人 H30: 327,000人</p> <p>【結果値】R2: ▲1,579,870人 R1: 27,490人 H30: ▲115,090人</p>
交付金事業の効果	新型コロナウイルス感染症の拡大が大きく影響し、KPIの達成状況は芳しくなかったものの、宿泊客を対象としたR1の観光消費額単価は本事業の開始年度(H28)と比べ約1割増加しており、本事業が旅行者の滞在時間の増加や県内観光資源の高付加価値化に寄与したと考えられる。

ウ【広域連携事業】「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローバル交通ネットワーク形成事業

計画期間	令和元～3年度
目指す将来像	公共交通の利便性を高めるため、効率性・採算性等にも考慮した取組みを進め、つかいやすく、わかりやすい、持続可能な公共交通網の形成を目指す。
概要	<p>県内の多彩な交通機関を活かした地域交通ネットワークを形成。持続可能で多様な地域交通サービスを実現し、利便性の向上を図るもの。（広域代表：富山県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、公営バス運行管理事業（富山県地域公共交通情報提供推進協議会負担金、バスロケーションシステム維持管理業務委託）に取り組んだ。
交付対象事業費（国費）	152千円（76千円）
本事業における重要業績評価指標（KPI）	<p>鉄軌道・バスの利用率（県民1人当たりの年間利用回数）（増加分）</p> <p>【目標値】 R2： 0.55回 R1：0.5回</p> <p>【結果値】 R2：▲11.0回 R1：1.5回</p>
	<p>観光客の県内交通機関の満足度（増加分）</p> <p>【目標値】 R2： 2.0% R1： 3.0%</p> <p>【結果値】 R2：▲5.6% R1：▲1.2%</p>
	<p>農林漁業等体験者数（増加分）</p> <p>【目標値】 R2：1,874人 R1：1,874人</p> <p>【結果値】 R2：— R1：—</p>
	<p>※広域代表＝富山県にて取りまとめ</p> <p>富山空港国内・国際路線の利用者数（増加分）</p> <p>【目標値】 R2： 4,665人 R1： 3,610人</p> <p>【結果値】 R2：▲496,536人 R1：▲18,439人</p>
交付金事業の効果	本事業によって「とやまロケーションシステム」を維持管理し、利便性を確保した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、鉄軌道・バスや空路の利用者が大幅に減少したが、今後の感染症の収束によって回復が見込まれる。引き続き持続可能な公共交通網の形成を目指し、利用促進に取り組む。

エ【広域連携事業】とやま未来創生チャレンジ人材育成事業

計画期間	令和2～4年度
目指す将来像	グローバルな視点やICTリテラシーなど新たな知見を身に付け、探求心や課題解決能力等を高めることを通じ、人生100年時代を見据えた、将来を担う人材の育成を目指す。
概要	リカレント教育（学び直し）の意義に関する広域的な啓発を行うとともに、学力だけでなく、非認知能力やICTリテラシーなど、新たな時代に求められる能力を持つ人材の育成に取り組むもの。（広域代表：富山県） ・本市では、ICT人材育成事業（高岡市ロボットプログラミング競技大会開催・運営業務）に取り組んだ。
交付対象事業費（国費）	500千円（250千円）
本事業における重要業績評価指標（KPI）	リカレント教育（学び直し）に取り組む県内社会人の割合（増加分） 【目標値】R2：6.0% 【結果値】R2：1.8%
	県内大学・短大入学者の県内比率（増加分） 【目標値】R2：±0% 【結果値】R2：▲0.66%
	困難な課題に果敢に挑戦する県内小学生の割合（増加分） 【目標値】R2：3.0% 【結果値】R2：▲8.0%
	※広域代表＝富山県にて取りまとめ 地域社会で活動する高齢者等の活動件数（増加分） 【目標値】R2：50件 【結果値】R2：▲4,343件
交付金事業の効果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、県全体としては十分な活動ができていないが、本市においてはロボットプログラミング競技大会を通じて、ICTを積極的に活用して問題解決ができる人材が育成できた。

オ 関係人口拡大から移住者を呼び込む、発信・体験プロジェクト

計画期間	令和2～4年度
目指す将来像	移住者に対する地域の受入体制の充実を図るとともに、情報発信力を強化し、賑わい創出事業の実施や地域と継続的なつながりを持つ機会を創出することで「関係人口」を獲得する。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市、商工会議所、ハローワークが連携したUIJターンの推進（移住フェア・セミナー出展、移住マッチングサイト情報掲載など） ・リノベーションを通じた関係人口獲得につながる事業
交付対象事業費（国費）	11,084千円（5,542千円）
本事業における重要業績評価指標（KPI）	市の相談窓口を通じた移住者数（増加分） 【目標値】R2：10人 【結果値】R2：6人
	県内大学生（県外出身者）の県内就職率（増加分） 【目標値】R2：1.0% 【結果値】R2：集計中
	UIJターン採用率（増加分） 【目標値】R2：1.0% 【結果値】R2：2.0%
	10歳未満の子どもの数（増加分） 【目標値】R2：20人 【結果値】R2：▲385人
交付金事業の効果	商工会議所やハローワークと連携し、地元企業の人材確保に資する取組みを実施し、県外からのUIJターンの働き手の確保について一定の効果が認められた。

カ 「令和」時代を追い風とした、文化の力で地域の稼ぐ力創出プロジェクト

計画期間	令和2～4年度
目指す将来像	令和改元を追い風とし、万葉歴史館の魅力向上、歴史・文化のPR事業等を進め、「万葉」をキーワードとした観光客、関係人口が増加し、「稼ぐ力」を獲得する社会を目指す。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・万葉まつりにおける万葉ファン拡大に資するイベント実施 ・高校生万葉短歌バトル ・万葉歴史館展示室の整備
交付対象事業費（国費）	25,600千円（12,800千円）
本事業における重要業績評価指標（KPI）	万葉歴史館入館者数（増加分） 【目標値】R2： 1,000人 【結果値】R2：▲12,422人
	観光客入込客数（増加分） 【目標値】R2： 1.8万人 【結果値】R2：▲202.2万人
	万葉歴史館を校外学習等で来訪する学校数（増加分） 【目標値】R2：±0校 【結果値】R2：▲3校
	観光客の宿泊者数（増加分） 【目標値】R2： 1,000人 【結果値】R2：▲136,132人
交付金事業の効果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、KPIは達成できなかったが、オンラインによるイベント実施や万葉歴史館の展示充実によって注目を集めながら参加者を確保し、アフターコロナにつなげる土台を構築した。

キ まちなか賑わい創出プロジェクト

計画期間	令和2～4年度
目指す将来像	中心市街地において「ひと」が集まる動機づくりと居心地の良さづくりという観点のもと、「コト消費」によって「多様な目的による多様な交流が図られる場所」となることを目指す。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地における空き店舗を活用した事業への支援 ・中心市街地に人の往来、多様な交流の機会を提供するイベント等の実施 ・まちなかの新たな交流空間として高岡地域地場産業センターを移設
交付対象事業費（国費）	140,147千円（70,074千円）
本事業における重要業績評価指標（KPI）	周辺の歩行者通行量（増加分） 【目標値】R2： 1,000人 【結果値】R2：▲4,276人
	中心商店街・観光地周辺における新規開業店舗数（増加分） 【目標値】R2： 5件 【結果値】R2：17件
	高岡地域地場産センターへの来場者数（増加分） 【目標値】R2： 500人 【結果値】R2：▲43,750人
交付金事業の効果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出控えやインバウンド減少によってまちなかの人流が抑えられたが、店舗の新規開業や高岡地域地場産業センターの御旅屋セリオへの移転など、アフターコロナにおけるにぎわいの回復に向けて土台を構築することができた。

（3）地方創生拠点整備交付金

令和2年度該当事業なし

3 企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の実績について

地方創生を実現するために民間企業が積極的に寄附を行うことができるよう、平成 28 年度に創設された制度。国が認定した地域再生計画に対して企業が寄附を行った場合、法人税などの負担軽減が受けられる。本市は総合戦略「みらい・たかおか」の推進にかかる 2 つの計画の認定を受けている。

ア 藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり～若者が夢を持ち住み続けたくなるまちの魅力向上プロジェクト～

事業名 および 目的	日本を代表するまんが家藤子・F・不二雄こと藤本弘氏（以下「F 先生」。）の出身地である高岡ならではの取組みを進めることにより、交流人口の拡大につなげる。あわせて、F 先生の作品のキャラクターに日常的に親しめる環境を作ることで、高岡に育つ子どもたちに、この高岡から F 先生のような世界で愛される作品を生み出す人物が輩出されたこと、このまちでの何気ない日常が大きな世界へとつながっていることを伝え、ふるさと高岡への誇りと愛着を育む。さらに、事業を推進させることにより、転出抑制と U ターンの推進、子育てしやすいまちづくりを実現し、「若者の定住の促進」「若者が安心して働き、子供を産み育てられる地域社会」につなげる。			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー企画展示事業 ・高岡おとぎの森公園活性化事業 ・藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー P R 事業 			
事業費	14,205 千円			
寄附額	10,000 千円			
重要業績評価 指標 (KPI)	KPI①藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー入館者数			
		年 月	目標値	実績値
	申請時	H 2 9 . 3	38,606 人	38,606 人
	初年度	H 3 0 . 3	38,700 人	41,775 人
	2 年目	H 3 1 . 3	38,800 人	54,281 人
	3 年目	R 2 . 3	38,900 人	42,919 人
	4 年目	R 3 . 3	39,000 人	19,512 人
	KPI②高岡市社会動態推移			
		年 月	目標値	実績値
	申請時	H 2 9 . 3	▲81 人	▲81 人
	初年度	H 3 0 . 3	▲30 人	190 人
	2 年目	H 3 1 . 3	20 人	▲275 人
3 年目	R 2 . 3	70 人	▲464 人	
4 年目	R 3 . 3	0 人	9 人	

イ 高岡市まち・ひと・しごと創生推進計画

<p>事業名 および 目的</p>	<p>本市の持つ町民文化やものづくり産業、高い地域力が生む住みやすさという高岡の強みを最大限に活かし、将来を切り拓いていく人材を育てる「ひと」づくりに取り組む。高岡の文化力の高さを活かした文化創造活動の実践を通じて創造的な「ひと」を育て、創造的な「ひと」が「まち」に新たなコミュニティや価値を創造し、魅力的な「しごと」を生み出す。魅力的な「しごと」は「まち」を活性化し、さらに「ひと」が集い育つという好循環を確立する。</p> <p>こうした高岡ならではのまち・ひと・しごとの創生により、人口減少下においても、若者や女性をはじめとする多様なひとが夢や希望、いきがいを持って暮らし続けられる地域の実現を目指す。</p>																						
<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる事業 ・安心して子どもを生み育てられるまちをつくる事業 ・魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる事業 ・誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる事業 																						
<p>事業費</p>	<p>12,000 千円</p>																						
<p>寄附額</p>	<p>12,000 千円</p>																						
<p>重要業績評価 指標 (KPI)</p>	<p>KPI①創業件数 (件)</p> <table border="1" data-bbox="308 1061 1335 1234"> <thead> <tr> <th></th> <th>年 月</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請時</td> <td>R 2. 3</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>初年度</td> <td>R 3. 3</td> <td>120 件</td> <td>171 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>KPI②観光客入込数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="308 1301 1335 1420"> <thead> <tr> <th></th> <th>年 月</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請時</td> <td>R 2. 1 2</td> <td>3,890,000 人</td> <td>1,828,010 人</td> </tr> </tbody> </table>				年 月	目標値	実績値	申請時	R 2. 3	-	-	初年度	R 3. 3	120 件	171 件		年 月	目標値	実績値	申請時	R 2. 1 2	3,890,000 人	1,828,010 人
	年 月	目標値	実績値																				
申請時	R 2. 3	-	-																				
初年度	R 3. 3	120 件	171 件																				
	年 月	目標値	実績値																				
申請時	R 2. 1 2	3,890,000 人	1,828,010 人																				